

四半期報告書

(第16期第2四半期)

自 平成23年7月1日
至 平成23年9月30日

株式会社サンウッド

東京都港区虎ノ門三丁目2番2号

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 1
- 2 事業の内容 1

第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク 2
- 2 経営上の重要な契約等 2
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 2

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 4
- (2) 新株予約権等の状況 4
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 4
- (4) ライツプランの内容 4
- (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 4
- (6) 大株主の状況 5
- (7) 議決権の状況 5

2 役員の状況 6

第4 経理の状況 7

1 四半期財務諸表

- (1) 四半期貸借対照表 8
- (2) 四半期損益計算書 10
- (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 11

2 その他 15

第二部 提出会社の保証会社等の情報 15

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月11日
【四半期会計期間】	第16期第2四半期（自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日）
【会社名】	株式会社サンウッド
【英訳名】	Sunwood Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐々木 義実
【本店の所在の場所】	東京都港区虎ノ門三丁目2番2号
【電話番号】	(03) 5425-2661（代）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 岡本 真人
【最寄りの連絡場所】	東京都港区虎ノ門三丁目2番2号
【電話番号】	(03) 5425-2661（代）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 岡本 真人
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第15期 第2四半期 累計期間	第16期 第2四半期 累計期間	第15期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	1,465,524	3,262,713	12,623,471
経常利益又は経常損失(△)(千円)	△538,737	△726,861	689,901
当期純利益又は四半期純損失(△)(千円)	△312,674	△736,061	260,598
資本金(千円)	1,266,817	1,266,817	1,266,817
発行済株式総数(株)	38,940	38,940	38,940
純資産額(千円)	3,071,027	2,813,117	3,644,084
総資産額(千円)	18,187,793	10,454,250	12,144,899
1株当たり当期純利益金額又は四半期純損失金額(△)(円)	△8,236.52	△19,389.43	6,864.73
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額(円)	—	—	6,796.70
1株当たり配当額(円)	—	—	2,500
自己資本比率(%)	16.6	26.5	29.6
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	△1,031,354	1,118,695	933,182
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	△7,110	△7,394	97,854
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	△201,373	△839,692	△2,591,303
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	1,288,432	1,239,613	968,004

回次	第15期 第2四半期 会計期間	第16期 第2四半期 会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△)(円)	△4,241.68	1,238.81

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 当第2四半期累計期間及び前第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当社の第2四半期累計期間における経営成績は以下のとおりとなりました。

主要セグメントである不動産販売事業につきましては、「サンウッド中目黒フラッツ」及び「サンウッド松濤」を引渡しました。これにより、不動産販売事業売上高は31億8千3百万円となりました。

その他の事業におきましては、リフォーム事業に係る売上や不動産販売に係る仲介手数料、賃貸収入等を中心に7千9百万円となりました。その結果、売上高は32億6千2百万円（前年同期比122.6%増）となりました。

一方、利益面では、たな卸資産評価損を含めました売上原価が33億7千万円、販売費及び一般管理費が5億1千9百万円となりましたため、営業損失として6億2千7百万円（前年同期は営業損失4億8百万円）を計上しました。また、3百万円を営業外収益として、支払利息等により1億2百万円を営業外費用として計上しました結果、経常損失は7億2千6百万円（前年同期は経常損失5億3千8百万円）となりました。この経常損失から特別損失及び法人税等合計を差し引き、四半期純損失は7億3千6百万円（前年同期は四半期純損失3億1千2百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は104億5千4百万円となり、前事業年度末に比べ16億9千万円減少しました。これは主に「サンウッド中目黒フラッツ」及び「サンウッド松濤」の引渡し等により、たな卸資産が19億1千4百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は76億4千1百万円となり、前事業年度末に比べ8億5千9百万円減少しました。これは主に長期借入金が増加したものの、上述しましたプロジェクトの引渡しに伴い、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が増加したこと、及び買掛金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は28億1千3百万円となり、前事業年度末に比べ8億3千万円減少しました。これは主に四半期純損失を計上したことによるものであります。この結果、自己資本比率は26.5%となり、前事業年度末比3.1ポイント減少しました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における「現金及び現金同等物」（以下「資金」という。）は、前年同期比4億8千8百万円減少し、12億3千9百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は11億1千8百万円（前年同期は10億3千1百万円の使用）となりました。

これは、販売用不動産の引渡しにより資金が増加したことが主な要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は7百万円（前年同期は7百万円の使用）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は8億3千9百万円（前年同期は2億1百万円の使用）となりました。

これは、長期借入金の借入れにより資金が増加したものの、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金を返済したことにより資金が減少したことが主な要因であります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	64,000
計	64,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	38,940	38,940	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	当社は単元株制度は採用 していません。
計	38,940	38,940	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	—	38,940	—	1,266,817	—	1,115,617

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
森 稔	東京都港区	4,960	12.74
中島 正章	東京都杉並区	4,740	12.17
森ビル株式会社	東京都港区六本木6-10-1	2,896	7.44
阿部 和広	徳島県徳島市	1,050	2.70
清水 克己	神奈川県横浜市磯子区	1,040	2.67
澤田 正憲	東京都文京区	1,028	2.64
株式会社サンウッド	東京都港区虎ノ門3-2-2	978	2.51
サンウッド従業員持株会	東京都港区虎ノ門3-2-2	268	0.69
佐藤 衛	山形県鶴岡市	260	0.67
佐々木 義実	埼玉県越谷市	230	0.59
計	—	17,450	44.81

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 978	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 37,962	37,962	—
単元未満株式	—	—	—
発行済株式総数	38,940	—	—
総株主の議決権	—	37,962	—

② 【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は 名称	所有者の住所	自己名義所有株 式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の合 計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
株式会社サンウッド	東京都港区虎ノ門 三丁目2番2号	978	—	978	2.51
計	—	978	—	978	2.51

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
代表取締役	社長	中島 正章	平成23年9月30日

なお、平成23年10月1日に次のとおり役員が異動しております。

役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
代表取締役	社長	専務取締役	事業本部長	佐々木 義実	平成23年10月1日

第4【経理の状況】

1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、監査法人A&Aパートナーズによる四半期レビューを受けております。

3. 四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	968,004	1,239,613
売掛金	14,234	18,406
販売用不動産	2,813,914	823,555
仕掛品	7,925,450	8,001,044
未収入金	39,340	5,129
その他	94,591	95,170
貸倒引当金	△7,000	△7,000
流動資産合計	11,848,536	10,175,920
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	89,536	89,536
減価償却累計額	△14,577	△15,770
建物及び構築物（純額）	74,958	73,765
工具、器具及び備品	16,795	18,395
減価償却累計額	△13,672	△14,316
工具、器具及び備品（純額）	3,123	4,079
土地	68,732	68,732
リース資産	2,725	2,725
減価償却累計額	△1,408	△1,680
リース資産（純額）	1,317	1,044
有形固定資産合計	148,132	147,622
無形固定資産	7,659	6,183
投資その他の資産		
投資有価証券	13,031	13,027
その他	127,538	111,495
投資その他の資産合計	140,569	124,523
固定資産合計	296,362	278,329
資産合計	12,144,899	10,454,250

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	405,549	256,941
短期借入金	387,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,294,488	537,600
未払法人税等	11,529	4,957
前受金	306,775	310,260
引当金	20,833	24,999
その他	70,208	98,147
流動負債合計	2,496,385	1,232,906
固定負債		
長期借入金	5,929,500	6,329,500
引当金	64,267	69,915
その他	10,662	8,810
固定負債合計	6,004,429	6,408,226
負債合計	8,500,814	7,641,132
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,266,817	1,266,817
資本剰余金	1,115,617	1,115,617
利益剰余金	1,295,977	465,010
自己株式	△79,050	△79,050
株主資本合計	3,599,361	2,768,394
新株予約権	44,723	44,723
純資産合計	3,644,084	2,813,117
負債純資産合計	12,144,899	10,454,250

(2) 【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	1,465,524	3,262,713
売上原価	1,411,087	3,370,717
売上総利益又は売上総損失(△)	54,437	△108,003
販売費及び一般管理費	* 462,454	* 519,776
営業損失(△)	△408,017	△627,779
営業外収益		
受取利息	629	336
その他	1,690	3,429
営業外収益合計	2,319	3,765
営業外費用		
支払利息	132,897	102,847
その他	143	—
営業外費用合計	133,040	102,847
経常損失(△)	△538,737	△726,861
特別損失		
和解金	—	8,000
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,213	—
その他	7	—
特別損失合計	2,221	8,000
税引前四半期純損失(△)	△540,958	△734,861
法人税、住民税及び事業税	1,200	1,200
法人税等調整額	△229,483	—
法人税等合計	△228,283	1,200
四半期純損失(△)	△312,674	△736,061

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△540,958	△734,861
減価償却費	4,122	3,585
引当金の増減額(△は減少)	12,149	9,814
受取利息及び受取配当金	△629	△336
支払利息	132,897	102,847
和解金	—	8,000
売上債権の増減額(△は増加)	2,898	△4,171
販売用不動産の増減額(△は増加)	1,360,459	1,990,358
仕掛品の増減額(△は増加)	△2,078,145	△75,593
未収入金の増減額(△は増加)	△86	0
仕入債務の増減額(△は減少)	△21,408	△148,608
前受金の増減額(△は減少)	162,100	3,485
その他	△6,128	79,055
小計	△972,729	1,233,576
利息及び配当金の受取額	632	258
利息の支払額	△100,854	△104,975
和解金の支払額	—	△8,000
法人税等の支払額	△1,226	△2,309
法人税等の還付額	42,824	144
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,031,354	1,118,695
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△110	△1,600
その他	△7,000	△5,794
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,110	△7,394
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△387,000
長期借入れによる収入	1,795,000	937,600
長期借入金の返済による支出	△1,900,000	△1,294,488
配当金の支払額	△94,657	△94,022
リース債務の返済による支出	△1,715	△1,782
財務活動によるキャッシュ・フロー	△201,373	△839,692
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,239,838	271,608
現金及び現金同等物の期首残高	2,528,271	968,004
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 1,288,432	* 1,239,613

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

※販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
給与・賞与	134,588千円	141,133千円
賞与引当金繰入額	35,841	24,999
退職給付費用	5,556	5,973
広告宣伝費	58,289	95,901
支払手数料	37,245	65,341
貸倒引当金繰入額	7,000	—

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

※現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
現金及び預金勘定	1,388,432千円	1,239,613千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△100,000	—
現金及び現金同等物	1,288,432	1,239,613

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月24日 定時株主総会	普通株式	94,905	2,500	平成22年3月31日	平成22年6月25日	利益剰余金

当第2四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	94,905	2,500	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

(金融商品関係)

前事業年度末(平成23年3月31日)

科目	貸借対照表 計上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1) 短期借入金	387,000	386,995	△4
(2) 1年内返済予定の長期借入金	1,294,488	1,294,448	△39
(3) 長期借入金	5,929,500	5,922,452	△7,047

(注) 金融商品の時価の算定方法

(1) 短期借入金、(2) 1年内返済予定の長期借入金、(3) 長期借入金

元利金の合計額を、同様の新規借入れを行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

当第2四半期会計期間末(平成23年9月30日)

借入金が、会社の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前事業年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

科目	四半期貸借対照表 計上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1) 短期借入金	—	—	—
(2) 1年内返済予定の長期借入金	537,600	537,600	—
(3) 長期借入金	6,329,500	6,332,032	2,532

(注) 金融商品の時価の算定方法

(1) 短期借入金、(2) 1年内返済予定の長期借入金、(3) 長期借入金

元利金の合計額を、同様の新規借入れを行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他	合計
	不動産販売事業		
売上高			
外部顧客への売上高	1,370,000	95,524	1,465,524
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,370,000	95,524	1,465,524
セグメント利益又は損失(△)	△55	54,492	54,437

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産仲介、リフォーム、賃貸等の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

当第2四半期累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他	合計
	不動産販売事業		
売上高			
外部顧客への売上高	3,183,106	79,607	3,262,713
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,183,106	79,607	3,262,713
セグメント利益又は損失(△)	△137,680	29,676	△108,003

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産仲介、リフォーム、賃貸等の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の売上総損失と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額	△8,236円52銭	△19,389円43銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	△312,674	△736,061
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	△312,674	△736,061
普通株式の期中平均株式数(株)	37,962	37,962

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年10月31日

株式会社サンウッド
取締役会 御中

監査法人A & Aパートナーズ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 中井 義己 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 町田 眞友 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンウッドの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第16期事業年度の第2四半期会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンウッドの平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。